

## ワンポイント アドバイス!

### 認知症の症状 BPSDは予防が大切

認知症の症状は、大まかに認知症状(中核症状)と行動・心理症状(BPSD)に分けられます。認知症状は徐々に進行しますが、行動・心理症状は予防することで改善が可能です。

参照:【ポケット介護】楽になる認知症ケアのコツ

#### 認知症の症状

##### 認知症状(中核症状)

- ◆ ボーっとしている
- ◆ 数分で忘れる
- ◆ 理解困難
- ◆ 見間違い、着衣困難 など



##### 行動・心理症状(BPSD)

- ◆ 行動症状
  - 暴言・暴力
  - 喚声(叫び声)
  - 不穏
  - 徘徊
- ◆ 心理症状
  - 不安
  - 抑うつ



対応が難しい!!

#### BPSDはこんなときに起こる

- ◆ 行動や言動を否定されたとき
- ◆ 自分では正しいと思っているのに怒られたとき
- ◆ 話を聞いてもらえなかったとき
- ◆ やりたいことを止められたとき

馬鹿にされている気がする

話を聞いてもらえない

のけ者になっている



#### BPSDを予防しよう

BPSD はどんなときに起こるかを考えて、その状況に陥らないようにすることが予防につながります。

- ◆ 「自分だったらどうしてほしいか」、「自分がどうされたときに不愉快になるか」と**一歩下がって考えて**みましょう!
- ◆ 脳内には「ミラーニューロン(真似をしたくなる神経細胞)」があるので、**笑顔で**接してみましょう。

